

# Newsletter: 日本音韻論学会 (PhSJ)

第 29 巻第 1 号 (通巻 84 号)

2025 年 4 月 14 日

## 訃報

本学会顧問で、東京都立大学名誉教授の今井邦彦先生が、2月8日、92才で亡くなりました。

今井先生は、本学会の前身である英語音韻論研究会・音韻論研究会の会長を務められ、その後は顧問として常に本学会をご指導下さいました。

これまでに、今井先生からいただきました恩に感謝するとともに、今井先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## 学会会長・副会長交代について

任期満了にともない、2025年3月末で本学会会長時崎久夫氏（札幌大学）ならびに同副会長那須川訓也氏（東北学院大学）が退任されました。これまで学会運営の中心として多大なご尽力をいただき、真にありがとうございました。

2025年4月から、新会長に那須川訓也氏（東北学院大学）、新副会長に田中真一氏（神戸大学）が就任することになります（2025年5月開催予定の理事会の承認を経て正式に就任）。任期は2029年3月までの4年間です。新体制での学会運営をよろしくお願いいたします。

## 理事交代のお知らせ

2025年3月をもちまして、理事16名のうち、以下の8名が退任となりました（50音順、敬称略）。

安藤智子（富山大学）・熊谷学而（関西大学）・菅原真理子（同志社大学）・高山知明（金沢大学）・野北明嗣（レモンスクール）・橋本大樹（上越教育大学）・松浦年男（北星学園大学）・渡部直也（大阪大学）

これまで学会運営に多大なるご尽力をいただきましたことに、厚く感謝申し上げます。上記理事の退任にさきだち、2024年10月～12月に改選選挙が行われました。その結果、2025年4月より以下の8名の方が新しい理事に就任されます（50音順、敬称略、2025年5月17日開催予定の会員総会の承認を経て正式に就任）。

植田尚樹（東京外国語大学）・大井川朋彦（日本大学）・北原真冬（上智大学）・ギユモ セレスト（法政大学）・高城隆一（富山大学）・黄竹佑（名古屋学院大学）・ポッペ クレメンス（早稲田大学）・劉 莎（福岡工業大学）

任期は2029年3月までの4年間です。よろしくお願いいたします。

## 旅費の補助について

本学会では、若手研究者への支援を目的として、研究発表会やフォーラムの遠隔地からの発表者かつ、非有職者（学生や非常勤講師等）の会員を対象に旅費の補助を行います（一人上限：国内2万円、海外5万円）。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。希望される方は奮って研究発表会ならびにフォーラムの発表にご応募下さい。

## 『音韻研究』第28号発行

『音韻研究』第28号が発行されました。2024年度春期研究発表会・音韻論フォーラム2024において発表された論文および一般投稿論文6編（査読を経たもの）、招待講演論文2編、講演要旨2編、合計10編が収められております。

2024年度の会費を今年の3月末日までに納付された方には、2025年4月中旬に発送します（海外送付分を含む）。幅広く教育、研究にご利用頂たく存じます。なお、年度にかかわらず**未納分の年会費が納入されましたら、当該年度の『音韻研究』を無料で送付いたします。**

## 2025年度春期研究発表会

2025年度春期研究発表会（通算第32回大会）を、2025年5月17日（土）、福岡大学とオンラインのハイブリッドで開催いたします。発表会終了後には会員総会も行われます。会員の皆様には、奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。プログラムは別紙の通りです。

問合せ：竹安大（春期研究発表会担当理事）

E-mail: takeyasu[at]fukuoka-u.ac.jp

（[at]を@に置き換えてください）

## 音韻論フォーラム 2025

2025 年度は以下の要領で音韻論フォーラムが開催されます。

期日：2025 年 8 月 26 日（火）～27 日（水）

会場：中央大学多摩キャンパス+オンライン

世話人：守本真帆（中央大学）

プログラム等詳細につきましては、7 月下旬に発行予定の次号 Newsletter で、改めてお知らせいたします。

### フォーラム研究発表募集

音韻論フォーラム 2025 の研究発表を、下記の要領で募集いたします。発表希望の方は奮ってご応募ください。

本フォーラムでの発表内容は、編集委員会での査読を経て『音韻研究』第 29 号（2026 年 3 月発行予定）に掲載されることになります。学会誌への掲載という点からも、他学会との重複発表はくれぐれもご遠慮下さい。なお『音韻研究』への掲載は、発表 1 件につき、原則として 8 ページです。

#### <応募要領>

発表テーマ：音韻論・音声学に関するもの、あるいは音韻論・音声学と他の分野とのインターフェースに関するもの

使用言語：日本語または英語（日本語で発表の場合、海外ゲストへの配慮によりハンドアウトやパワーポイントは英語にすることを推奨）

発表形態：一般発表（口頭・ポスター）またはワークショップ

参加形態：対面またはオンライン

送付方法：いずれの発表形態の場合も発表者情報および要旨（PDF ファイル）を発表応募フォームより送信すること。

応募資格：会員のみ応募可能。ただし共同発表の場合は筆頭発表者が会員であればよい。

応募件数：同一発表者による応募は 2 件以内とし、このうち筆頭発表者としては 1 件とする。

#### I. 一般発表の場合

- (1) 「発表者情報」は、発表応募フォームの所定の欄に氏名、所属、発表タイトル、希望する発表形態（口頭 or ポスター）、参加形態（対面 or オンライン）、メールアドレス等を入力する。
- (2) 「要旨」には、タイトルと発表要旨のみを記入する（氏名等は記載しない）。要旨は日本語の場合 2000 字以内、英語の場合 800 語以内とする。加えて、参照文献一覧を 1 枚以内で示す（参照文献一覧は文字数に含まない）。1 つの PDF ファイルとして書き出したものを発表応募フォームから提出する。

#### II. ワークショップの場合

- (1) 「発表者情報」は、代表者および発表者全員の氏名、所属、メールアドレス、タイトルを記載する。
- (2) 「要旨」は、ワークショップ全体に関するものと、各発表者によるものを用意し、代表者が取りまとめ、1 つの PDF ファイルとして書き出したものを発表応募フォームから一括して提出する。各要旨には、タイトルと発表要旨のみ記入する（氏名等は記載しない）。各要旨は日本語の場合は 2000 字以内、英語の場合は 800 語以内とする。要旨各々につき、参照文献一覧を 1 枚以内で示す（参照文献一覧は文字数に含まない）。

PDF ファイルの作成や発表応募フォームからの提出が困難な場合は、事前に担当理事に連絡すること。

書式：A4 サイズに発表時の使用言語で記載。

締め切り：2025 年 6 月 23 日(月)

発表応募フォーム：

<https://forms.gle/iidBiH2GBHX6K7UeA>

応募に関する問合せ先：守本真帆（フォーラム担当理事）

E-mail: [phonforum2025 \[at\] gmail.com](mailto:phonforum2025[at]gmail.com)  
([at]を@に置き換えてください)

メールの件名：(Forum2025 など)

書式を守っていない、あるいは期限に間に合わない応募原稿は無効となりますので、ご注意下さい。7 月上旬に採否を通知予定です。

## 『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入可能です。また、『20周年記念論文集』（2016）や本学会の前身である音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』（1996）についても、特別価格で購入可能です。ともに、ご自身で直接開拓社にお申し込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出版物と振込用紙が送られることになっております。詳しくは、開拓社にお問い合わせ下さい。

また、勤務校の研究室・図書館などに、もう1冊、研究費等による『音韻研究』の定期購入を御検討のほどよろしくお願いたします。

開拓社出版部

〒112-0003 東京都文京区春日 2-13-1 芳文堂ビル 6F

TEL: 03-6801-5651 (代表)

FAX: 03-6801-5663

E-mail: kawata[at]kaitakusha.co.jp

([at]を@に置き換えてください)

## 会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

E-mail 末尾にある数字を参考にして、会費を納入願います。印字された数字のうち4,5は、それぞれ2024, 2025の各年度の会費が未納であることを意味します。アスタリスクは会費納入済みであることを意味します。括弧付きの数字はその年度の会費が不足していることを意味します。また、tはthousandの意味で、[5t]とあれば5,000円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「\*5[5t]」と印字されていれば、2025年度の会費が未納であり、その総額が5,000円であることを意味します。

ご確認の上、未納の会費を以下のとおり郵便振込で納入していただきますよう、お願いいたします（『音韻研究』送付時に学会名および口座番号印字の振込用紙を同封いたしますのでご利用ください）。

郵便振込

口座番号：00180-6-402077

加入者名：日本音韻論学会

他行から：ゆうちょ銀行〇一九（ゼロイチキユー）店（019）当座0402077

年会費 維持会員：10,000円

通常会員：5,000円

学生会員：4,000円

維持会員は、本会を格別に支援して下さる会員です。**年会費1万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。**維持会員をご検討、ご希望の方は**事務局会計**までご連絡ください。追って当年度の維持会費 ¥10,000 の請求書をお送りします（メール添付にて）。

また、会員情報（住所、所属、連絡先）が変更になった場合は、必ず**事務局会計**にご連絡下さい（学生会員から通常会員へ変更となる場合なども必ずご連絡下さい）。連絡されないままにされますと、Newsletterや『音韻研究』等の配布物が正しく配送されませんのでご注意願います。

## 事務局の移動

3月末をもって桑本裕二氏（鳥取県琴浦町教育委員会）が事務局長を、黄竹佑氏（名古屋学院大学）が書記を退任し、4月から新事務局長に橋本大樹氏（上越教育大学）が、新書記に大沼仁美氏（東北学院大学）が就任いたしました。

### ～～～日本音韻論学会事務局～～～

#### 【事務局長】

橋本 大樹（上越教育大学）

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1

上越教育大学

TEL：025-521-3327

E-mail: daiki[at]juen.ac.jp

#### 【会計】

植田尚樹（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

TEL：042-330-5655

E-mail: ueta\_naoki[at]aa.tufts.ac.jp

#### 【書記】

大沼仁美（東北学院大学）

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1

東北学院大学 文学部

E-mail: honuma[at]mail.tohoku-gakuin.ac.jp

※E-mailアドレスは、[at]を@に置き換えてください。

日本音韻論学会ウェブサイト：<http://www.phsj.jp>

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～